

村の女性たちに筆下ろしされる青年 日々セックスの研究に  
明け暮れ、純朴な都会っ子食いをする女性たち

台所の食器が割れた。

昨日に続く両親の大喧嘩。

常日頃からではないのだけれどさすがに嫌気がさしたユウタは咄嗟に突発的に家出をしてしまった。

まあ迎えに来てくれるだろう・・・なんて軽い気持ちでふらふらと電車などを乗り継いでたどり着いたのは田舎駅。しばらく歩いてみても、周囲は四方が山。田や畑が広がるばかり。日も暮れかかった夕方、あぜ道で向こうから一人の女性がユウタの方へ歩いてきた。

若めの、長い髪の派手そうなお姉さんだ。

「君？うちへもちろん来るよね？」

————— 体験版はここまでです。 —————